



令和5年度「前期 学校評価アンケート（結果）」と「学校運営協議会（助言）」

生徒・保護者の皆様には、Google フォームによるアンケートにご回答いただきありがとうございました。アンケート結果および分析を、学校運営協議会（コミュニティスクール）に諮り、結果や分析についてのご意見、改善に向けてのご助言を頂戴しました。これらの結果、ご意見・ご助言を令和5年度後期の教育活動の改善と具体的な取組の立案・実行に活かしてまいります。

アンケートの回答…①あてはまる ②どちらかというにあてはまる ③どちらかというにあてはまらない
④あてはまらない ⑤わからない（※⑤は保護者アンケートのみ）
各 符 号 … ◎ {各重点の目標} ・ {学校運営協議会助言等} ☆ {改善策(後期に向けて)}

(1) 確かな学力の定着

◎学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学ぶ喜びと達成感を感じられる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』（①+②）

R4. 7 月：100% R5. 7 月：100% A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満

生徒『学校の授業がわかる』（①+②）

R4. 7 月：86% R5. 7 月：87% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』（①+②）※「⑤わからない」15%

R4. 7 月：55% R5. 7 月：66% A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満

[学校運営協議会]

- ・ 掲示されているプリントに、「学びのイメージマップ」と関連付けたコメントがあり、分かりやすかった。生徒の意識も高まるであろう。
 - ・ 読書に対する意識が少し低いようである。電子書籍は紙の本より、他の誘惑が多かったり、記憶の定着の点で弱かったりという調査結果もある。紙の本での読書の機会を増やしてほしい。
- ☆生徒が家で語りたくなるような学ぶ喜びを感じる授業、充実した授業を目指し、授業改善に努めます。生徒の学んだ成果やふり返った内容を保護者に返すなどして保護者の理解が進むよう工夫します。
- ☆ICT を活用したり声かけを行ったりなど、個別支援をより充実させていきます。家庭で何を学習するか考える場を学校で確保するなど、計画的な家庭学習を喚起していきます。

(2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取組の目的・目標を明確にし、質を向上させる。

教員『いじめに対する未然防止の指導や事後指導を丁寧に行った』（①+②）

R4. 7 月：98% R5. 7 月：100% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『学校はいじめを許さず、いじめの解決に向けて対応してくれる』（①+②）

R5. 7 月：94% (新規) A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『学校はいじめの未然防止や早期発見、適切な対応に努めている』（①+②）※「⑤わからない」47%

R5. 7 月：44% (新規) A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』（①+②）

R4. 7 月：90% R5. 7 月：97% A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』（①+②）

R4. 7 月：85% R5. 7 月：90% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『自分は学校の一員だと感じている』（①+②）

R4. 7 月：89% R5. 7 月：92% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』（①+②）※「⑤わからない」7%

R4. 7 月：79% R5. 7 月：85% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

[学校運営協議会]

- ・「学校はいじめの未然防止や早期発見、適切な対応に努めている」に対して「⑤分からない」47%ということは、先生たちがどのように取り組んでいるかを保護者に伝える場が必要なのではないか。その際、生徒の94%が「学校はいじめを許さず、いじめの解決に向け対応してくれる」と回答していることを伝え、保護者の安心につながるはずである。
 - ・「何がいじめになるのか」「こんなときはこうしたらよい」と生徒たちが議論できる場があるとよい。
- ☆コロナ禍の制約がなくなり、保護者が実際に生徒の取り組む様子を見てもらえる機会を確保します。
- ☆何かが起こってから学校の対応に気づくのではなく、日頃から安心感を持って生徒が学校生活を送れるための未然防止の取組についても周知を続けていきます。

(3)健全な体の育成

◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようにする。

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)			
R4.7月:64%	R5.7月:82%	A:80%以上	B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満
生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)			
R4.7月:90%	R5.7月:89%	A:90%以上	B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満

[学校運営協議会]

- ・部活動への参加形態が「柔軟」になり、選択肢が増えたことはよい。部活動を続けることがつらくなったときのために、多様な選択肢を準備しておくことが大切である。
- ☆柔軟な部活動への参加を認めつつ、参加形態に合わせて個人の目標が持てるように支援します。短時間でも集中して効果的な練習を実施できるように努めます。

(4)持続可能な学校教育の体制づくり

◎安全安心で愛情あふれる学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)			
R4.7月:93%	R5.7月:100%	A:90%以上	B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)			
R4.7月:83%	R5.7月:83%	A:90%以上	B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満
教員『時間外勤務時間』(月平均時間)			
R5.4月C(65h)、5月C(64h)、6月C(65h)、7月B(51h) ⇒ C			
A:45h以下 B:60h以下 C:70h以下 D:70hより多い			

[学校運営協議会]

- ・一般企業においても、休日を確保し、時間外勤務を削減しないと、採用が確保できない。学校においても時間外勤務の削減が喫緊の課題であろう。それが、生徒の健全な心の育成につながることになる。
 - ・保護者とのやり取りに割かれる時間が多いようだ。欠席連絡や所在確認など、学校にお任せではなく、協力し合えるとよい。
- ☆ホームページに各種便りや学校生活の様子が掲載されていることを知らせ、保護者自身が学校の様子を知る機会を増やします。
- ☆月予定表の早期提示により、見通しを持った業務遂行ができるようにします。併せて、週予定を工夫することで成績処理等の繁忙期の作業時間確保に努めます。

◆[自由記述欄]について

アンケートの『自由記述欄』には、47件の記述をいただき、ありがとうございました。ご意見、疑問に思われたこと、感謝のお言葉など様々でした。学校だよりを通してお答えできないものもございましたが、いただいたご意見等は、より良い学校づくりのための参考とさせていただきます。

子どもたちのよりよい成長のための相談事などございましたら遠慮なくご連絡ください。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。	
学校への質問やご意見などがございましたら下記どうぞ。	
連絡先	076-248-0039 (担当 教頭 南・主幹 東方)
メール	fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp